

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 022	提案機関名 普及指導部作物加工課
<b>要望問題名</b> 落花生の脱莢作業の省力化について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 本県の落花生は、秦野市を中心とした地域特産品「相州落花生」としてブランド化され、その作付面積は全国3位と地域として重要な作目となっている。しかしながら、作付面積及び生産量は年々減少しており、落花生の集荷量の減少により通年出荷が困難となっている。 通常落花生の脱莢作業は、収穫後は場に地干し乾燥した茎葉をほ場へ搬送した脱莢機まで運搬して、脱莢後に手選別で行なっている。また脱莢機を搬送できない場合は、手作業による収穫・選別をおこなっている。 生産者の高齢化に伴い、これらの作業方法が大きな負担となっており、作付面積の減少の要因となっている。そこで、落花生の脱莢機の搬送や脱莢作業、及び選別作業の省力化手法について検討をいただきたい。 対象地域 県下全域 落花生栽培面積 174a	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	生産技術部 野菜作物研究課
<b>対応区分</b>	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)			
<b>対応の内容等</b> 千葉県等と異なりポッチを組まない体系である本県の収穫・乾燥体系では、列状には場乾燥された茎葉・莢を、移動しながら脱莢する作業体系が考えられます。同様の作業体系を千葉県等の先進地でも検討していますので、その情報を収集すると共に、当所で試作した自走式脱莢機等を用いて試験を行う方向で検討しています。 選別作業については、千葉県等に所在する農機メーカーにより、風力等を利用した選別機械が販売されていますが、本県の個別生産者が導入するにはやや大型の機械となっています。このため、選別作業の省力化には、本県の栽培規模に適応する新規の小型選別機械の開発、あるいは集荷体勢の再編による、集荷場での一括した脱莢、選別作業を行い、適応する大型の選別機を導入するといった方法も考えられます。これら収穫・乾燥、選別作業の体系化に当たっては、生産者団体等とも協力して本県に適応する作業体系の検討を進める必要がありますので、その検討や本県産地の現況に関する情報収集について協力をお願いします。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			